2019 年度 事業計画書

一般社団法人パーソナルサービス支援機構

I. 事業期間

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

Ⅱ. 事業の実施方針

1. 事業計画の重点テーマ

事業は大きく分けて2つ。1つは、就労支援及び日常生活自立支援を行う「かのや自立就労サポートセンター」、もう1つは、小中学生のフリースクールと主に通信制高校に通う生徒の学習支援を行う「PSスクールかのや」。この2つの仕組みで、不登校・引きこもり支援から、学習サポートと就職・進学サポート、そして、就職定着や生涯にわたるスキルアップの応援という一貫した、新しい「パーソナルサービス(個を尊重したオーダーメイドの創造型サービス)」モデルを目指す。

また、ここ鹿児島県大隅地方は広大な土地であるが(神奈川県より広い)、電車は走っておらず、バスは本数が少ない上に限られた地域にしかないなど公共交通機関が整っていない。したがって、自家用車による移動が困難な家庭は、公的な支援がないため、支援が受けたくても受けられないのが現状である。だれもが平等に支援を受けることができるためにも、送迎やアウトリーチといったサービスを拡充していきたい。そのためにも、社用車の確保と人材養成が急務である。

2. 周知・広報活動

まずは新しい社会資源として周知していただくために、積極的な広報活動を行う。連携しうる行政機関や支援組織等を一貫的支援のおおよそ順に挙げると、

- ・公立小中学校、高校 ・教育委員会(行政) ・児童家庭支援センター ・養護養護施設
- ・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・子ども若者総合相談センター
- ・引きこもり地域支援センター ・子育て支援課(行政) ・福祉政策課(行政)
- ・こども福祉課(行政) ・県生活困窮者自立支援相談機関 ・県弁護士協会 などとなり、パンフレット・チラシ・ポスターを作成し、広く広報する。合わせて、ホームページや SNS といったネット媒体での広報も行っていく。

就労支援の一環として、就労体験や職場見学の受入れ企業や事業所の開拓をおこない、支援の 出口対策だけでなく、地域共生の社会をめざす取り組みを進める。

その中で、私たち団体の実践事例や理念を知っていただき、広くネットワークを築いていくためにも、1周年となる今年度にシンポジウムを開催する。

Ⅲ. 事業の実施に関する事項

- 1. 体制について
- (1) 役員

·理事:大倉一真(代表理事)、谷川勝彦、谷口絵里子

• 監事: 吉永智恵

(2) 常勤職員

「PSスクールかのや」 大倉一真(スクール長)、谷口絵里子(主任) 「かのや自立就労サポートセンター」 大倉一真(センター長)

2. 事業内容

- (1)「PSスクールかのや」
 - ①事業の種類
 - 学習支援事業
 - ・子ども・若者支援事業
 - ・不登校・引きこもり支援事業
 - ②取り組み
 - ・通信制高校等学習サポート 対象者:通信制高校に通う学生、高卒認定試験を目指す方
 - ・フリースクール

対象者:小中学生

・リカレントスクール(生涯学習)対象者: 学び直しやソーシャルスキルアップなどを目指している方

- (2)「かのや自立就労サポートセンター」
 - ①事業の種類
 - 就労支援事業
 - · 日常生活等自立支援事業
 - ·職業能力開発·雇用機会拡充事業
 - ②取り組み
 - 相談活動

対象者:就職や就労継続がなかなかうまくいかない方やその家族

はたらく準備プログラム

対象者:就職の意思をお持ちの方でかのや自立就労サポートセンターを利用中の方

ゆる活ワークショップ

対象者:かのや自立就労サポートセンターを利用中の方